



田尻さくら通信

宮城県田尻さくら高等学校 〒989-4308 大崎市田尻沼部字中新堀 137 <https://tajiri-hs.myswan.ed.jp>

★★★ 第14回さくら高祭 開催 ★★★

第14回さくら高祭は「桜花爛漫～満開に咲く桜のように～」をテーマに、明るく華やかな文化祭になるよう、実行委員を中心に企画運営を行いました。

今年度は、コロナ禍を乗り越え4年ぶりに調理を伴う飲食物の販売を再開したり、各出店団体が多くの工夫を凝らしたりと、一人一人の力が素敵な文化祭を作り上げました。中庭には特設ステージを作り、田尻高校同窓会の方々による出し物の他、本校音楽愛好会によるスペシャルステージやeスポーツ大会、パフォーマンス披露を行いました。

生徒一人一人の笑顔が満開に咲きほこったさくら高祭となりました。皆様のご協力、誠にありがとうございました。



1日目 開会行事・校内発表



「声とからだのレッスン」受講生徒による開会セレモニー



実行委員制作のオープニングムービー、参加団体のCM映像、教員クイズなど様々な企画が行われました。



2日目 一般公開



4年ぶりに地域の方々にも公開



中庭でのステージ発表も盛り上がりました！



今年度のポスター(2種:左上もと)、パンフレット表紙作品



色々な模擬店も出店し、好評を博しました



生徒も聴講生も授業の成果を発表・披露



田尻高校同窓会の皆さんと、餅つきを通して交流



やる気まんまん PTA「復活の豚汁」



文化講演会（マリンバ演奏）

10月5日（木）5・6校時に、本校体育館にて3多年次を対象に「それぞれの音楽と出逢い～内と外とつながる～」と題した音楽による文化講演会が行われました。

野尻さんは6年連続で本校に演奏に来てくださっており、毎年マリンバや他の楽器を用いた素敵なハーモニーを聴かせてくださっています。今年も、それぞれの音楽との出逢いのエピソードを交えながら、ソロや皆さんでのセッションを聴かせてくださった他、音を体で体験する場面もあり、生徒のみならずコロナ禍明けて聴講生も交えた久しぶりの講演会として、感動的なものとなりました。

生徒たちも「とても迫力があって一つ一つの音がきれいで吸い込まれそうでした。」「音楽の出す振動や響きはもちろん、音楽によって感じることでできる感情や感動も、目には見えないものの心で触れるものなのだと思います」などの感想を持ち、とても素晴らしい時間を過ごすことができました。



演者は、野尻小矢佳さん（ビブラフォン・パーカッション）、新崎誠実さん（ピアノ）、牧野詩織さん（フルート）、菊池葉子さん（メゾソプラノ）の4名でした。

するめ天旗づくり

仙台風の会から講師の方3名をお招きし、工芸I選択者の希望者と沼部小学校6年生と合同で「するめ天旗づくり」を行いました。「するめ天旗」は仙台市に古くから伝わる風で、スルメイカのような形が特徴です。



風づくりの活動では、本校生徒が小学生の制作を手伝う様子が見られました。



校庭での風あげは、晴天に恵まれました。風が弱く風をあげるのに苦労している生徒が多い中、空高くあげることができた生徒もいました。

今後の主な行事予定

- 12月7日（木） さくら文化講演会（ひとり芝居）
 - 12月14日（木） 交通安全講話
 - 12月21日（木） 進路決定者の話を聞く会（1・2年次）
 - 12月22日（金） 全校集会・大掃除（5・6校時）
 - 12月23日（土）～冬期休業（1月8日まで）
- 令和6年
- 1月9日（火） 全校集会（5・6校時）
 - 1月11日（木） 卒業生の話を聞く会（1・2年次）

お知らせ

田尻さくら高校では、さまざまなお知らせや学校の情報をホームページでも発信しています。昨年度までの学校評価アンケートの集計結果や、スクールミッション・スクールポリシーについてもホームページでご覧になれます。

ぜひご活用ください。

スマホをご利用の場合はQRコードから

